

# 令和2年度学びチャレンジリーディングスクール実施報告書(1年次)

学校名	北九州市立千代小学校	校長名	宮原 謙二
教科等名	A教科( ) B複数教科 C補充学習	学級数	19学級

○ 研究主題

考えを深め・広げ・課題解決につなぐ教科等の取組

○ 研究のねらい

学級の支持的風土をつくる「学級力」の取組を基盤として、学習指導要領に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりの工夫を行うことで、児童の、思考力・判断力・表現力、実践力・行動力、協調性や人間関係力等、多様な資質・能力の育成を目指す。

○ 取組の概要

① 考えを深め、広げる学びを具現化する授業改善

【課題設定の工夫】

【学習展開の工夫】

研究の実際



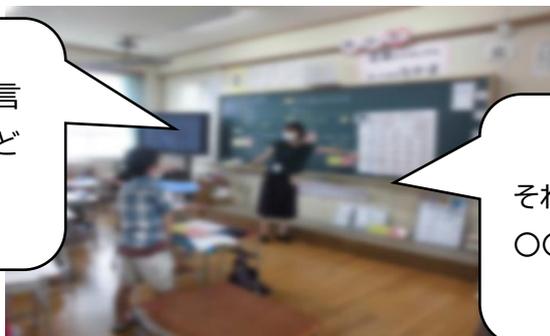
実際の物を提示したり、既習とのつながりを確認したりする等、児童の意欲を喚起する。



人と関わらざるをえない(説明し合う、確認し合う、考えを出し合う・深め合う等)場を意図的に設定する。

【話し合い活動をコーディネートする教師の工夫】

〇〇さんは、こう言っているけど…どう思いますか。



それって…つまり、〇〇ということかな。

- ・児童への言葉かけ(繰り返す、誉める、もどす、相談させる、方向づける、止める、促す、揺さぶる等)
- ・教師のパフォーマンス(声の強弱、表情、立ち位置、視線等)

## ② 広げる・つなげる対話力の育成

### 【発達段階に応じた聞き方・話し方指導の充実】

#### ・聞くスキル

低学年	中学年	高学年
話す人に体を向けて聞く 最後までだまって聞く	→	→
どんな内容かを考えながら聞く （「なるほど」、頷く等）	大切なこと（5W1H）を落とさずに聞く（メモをとる）	事実と意見を区別しながら聞く（メモをとる）
わからないことは質問する （「もう一度言って」等）	自分の考えと比べながら聞く （反応を示す）	話し手の意図をとらえ、自分の考えと比べながら聞く
	どこがわからないかを具体的に聞く	

#### ・話すスキル

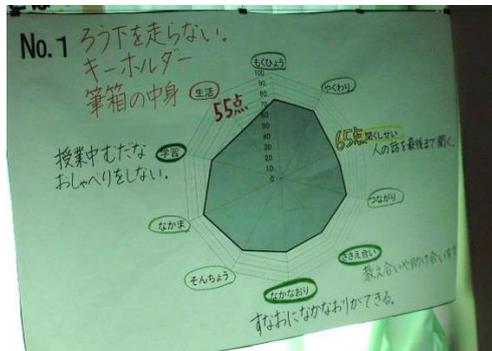
低学年	中学年	高学年
聞き手に体を向けて話す	→	→
聞き手の聞きやすい声で話す （声の大きさ、速さ等）	→	→
その場にあった話し方で話す （声の大きさ、ていねい語）	→	相手や場に応じた内容や言葉づかいで話す
順序よく話す	つなぎ言葉をつかって話す	効果的な表現を用いて話す（引用、例示等）
理由をつけて話す	構成を工夫して話す	
	資料を指し示しながら話す（絵や図等）	必要な資料等を選び、示しながら話す
	大切なこと（5W1H）を落とさずに話す	

学校全体で、「聞く・話す」スキルの共通認識をもって、普段から指導に当たるようにする。

## ③ 支持的風土のある学級づくり

### 【パワーアップタイムの充実】

### 【学級力アンケートの活用】



水曜日の朝自習の時間を活用して、児童の協働性を育む取組（パワーアップタイム）を行う。

定期的に学級力アンケートを行う。また、その結果をまとめたレーダーチャートを見ながら話し合うことで、支持的風土の学級をつくる。

次年度に  
向けて

#### ○ 課題

- ① 話し合い活動をコーディネートする教師の力を高める必要がある。
- ② 学級力アンケートをもっと有効的に活用できるようにする。

#### ○ 次年度の方角性

- ① 課題①②を解決し、考えを深め・広げ・課題解決につなぐ学習を目指す。
- ② 算数科を中心に、他教科等にも汎用させた実践研究を行う。